

▼ボイデヤ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ダニコパン Danicopan 【分類】発作性夜間ヘモグロビン尿症治療薬 [補体D 因子阻害剤]

【単位】▼50mg/錠

【常用量】1回 150mg を1日3回食後 [最大1回 200mg]

補体 (C5) 阻害剤と併用する

※中止時は肝機能障害のリスクから最低6日間かけて漸減 [1日3回のまま, 1回 100mg で3日間, 1回 50mg で3日間]

※漸減・中止は, 原則, 補体 (C5) 阻害剤の併用投与下

【用法】1日3回食後

【透析患者への投与方法】設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】重度腎障害で CL/F が 41.6% 低値 (1)

【特徴】補体 D 因子に可逆的に結合後, 補体 D 因子セリンプロテアーゼを阻害することで古典経路及びレクチン経路を阻害せずに補体第二経路を選択的に阻害。

【主な副作用・毒性】莢膜形成細菌感染症, その他の感染症, 肝機能障害

【安全性に関する情報】漸減及び中止により重篤な溶血があらわれるおそれがあり (1)

【吸収】空腹時投与で F が 13% 低下 (1)

【E】不明 (1)

【tmax】3hr

【代謝】主にアミドの加水分解により代謝 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 0.48% [po, 24hr まで] (1)

【CL/F】63.1±20.6L/hr (1)

【t1/2】7~9hr (1)

【蛋白結合率】91.3%~94.3% [主に Alb] (1)

【Vd/F】142L/body (1)

【MW】580.41

【透析性】資料なし (1) 透析性は低いと思われる (5)

【OW 係数】LogD=2.72 [pH 7.4] (1)

【相互作用】P-gp, BCRP を阻害し, 基質薬物の血中濃度上昇の可能性 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20240627

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。